

「水辺環境と生物多様性を守る！！」 府民との協働活動

水産研究部内水面グループ

■事業の概要

水生生物センターで養成した府民ボランティア(名称:水生生物センターサポートスタッフ)と協働して、小学校への出前授業や水生生物の採取体験学習、自然観察会、イベント等への出張展示などを実施

■事業の目的

環境保護や生物多様性保全への関心の高まりに伴って、研究所に対して環境学習の要望や環境イベントへの出展・講師派遣などの要請が増加している。そこで環境保護や環境教育に関心が高い府民をボランティアとして募り、府民協働で普及啓発事業を行う。

■当研究所が担う役割

- 環境保護や生物多様性保全に十分な知識・スキルをもつ府民ボランティアの養成
- ボランティアと協働して、府民が自然環境や生物に親しみや興味をもつ魅力的な学習機会や体験の場を提供
- 環境保護活動を進めるため、行政や市民団体などの活動をサポート
- 養成したボランティアに対し地域リーダーとして活動するよう支援

■事業の内容



水生生物センター開放イベントで児童に水草おしぼを指導するスタッフ



水生生物センター開放イベントで児童に魚捕りを指導するスタッフ



水生生物センター開放イベントで児童に水生生物の説明を行うスタッフ



環境イベントで来場者に淡水魚の説明を行うスタッフ



小学校への出前授業で児童に淡水魚の講習をするスタッフ



小学校への出前授業で児童に外来種の講習をするスタッフ



水生生物センターへの小学生遠足でめだかのスケッチを指導するスタッフ



小学校遠足で児童にイタセンパラの説明を行うスタッフ

「水辺環境と生物多様性を守る！！」府民との協働活動

平松和也（水産研究部 現 経営企画部）

1. 目的

環境保護や生物多様性保全への関心の高まりに伴って、研究所に対して環境学習の要望や環境イベントへの出展・講師派遣などの要請が増加している。しかし、研究所の人的資源ではこれらの要望に十分にに応じられないため、環境保護や環境教育に関心が高い府民をボランティアとして募り、府民協働で普及啓発事業を行っている。また経験を積んだボランティアが地元に戻り、地域で独自の活動を行うことで、環境保全活動がさらに広がることを期待できる。

2. 方法

水辺環境や水生生物の保全に関する普及啓発を行うため、水生生物センターで養成した府民ボランティア（名称：水生生物センターサポートスタッフ）と協働して、小学校への出前授業や水生生物センターのビオトープ池を利用した水辺体験学習、イベント等への出張展示、河川自然観察会などを行う。

また、これらの活動に併せてスタッフ向け勉強会を実施し、スタッフの知識・スキル向上をはかり、スタッフが居住する各地域において環境保全リーダーと活動しうるように入材養成を行う。

3. 結果および考察

平成20年9月に発足し、スタッフ登録者数は年間50人弱で、これまで述べ173人が活動した。これまでに18回の水生生物センターサポート活動と19回のスタッフ向け勉強会を実施し、多くの府民・児童に対して水辺環境の保全と生物多様性を守る啓発活動を実施した。また、スタッフも水辺環境に関する専門知識やイベント実施のノウハウを得るなどスキル向上につながった。

スタッフの水生生物センターサポート活動実績

平成24年 3月	環境フェスタ in 交野 出張展示
平成23年10月	水生生物センター開放イベント「イタセンパラとふれあおう」
平成23年 9月	大阪市立環境学習センター「生き生き地球館」子どもエコクラブ「水辺体験学習」
平成23年 5月	寝屋川市立点野小学校「水辺体験学習」
平成22年11月	大阪市立大隈西小学校出前授業「天然記念物の淡水魚イタセンパラを知ろう」
平成22年10月	水生生物センター開放イベント「イタセンパラとふれあおう」
平成22年 9月	市民団体ネットワーク「かけはし」エコセミナー
平成22年 9月	大阪市立生き生き地球館「水辺体験学習」
平成22年 9月	安威川ダム建設事務所自然観察会「水辺の学校」
平成22年 6月	淀川環境保全イベント「淀川ワンドを守れ！外来植物一斉駆除活動」
平成22年 5月	寝屋川市立点野小学校「水辺体験学習」
平成21年11月	(財)大阪科学技術センター「サイエンスメイト秋の見学会」
平成21年10月	水生生物センター開放イベント「水辺の生きもの探し」
平成21年 9月	寝屋川市木屋子供会「水辺体験学習」
平成21年 9月	寝屋川市木屋小学校「水辺体験学習」
平成21年 9月	大阪市生き生き地球館「水辺体験学習」
平成21年 6月	寝屋川市点野小学校「水辺体験学習」
平成20年10月	水生生物センター開放イベント「水辺の生き物教室」